



健康・福祉・介護のひろば

秩父地域の医療を守るために・・・

◆子どもの急な病気！こんなときどうする？

現在、秩父地域では、休日・夜間の二次救急医療を3病院の輪番制で実施していますが、どの病院も医師、医療スタッフが不足しており勤務態勢の維持に苦慮している状態です。

休日や夜間の小児救急医療現場では、時間外に受診する軽症の患者さんが増えることで多忙と混乱が生じています。救急病院に軽症の患者さんが集中することで、本当に重症な患者さんへの対応が遅れるおそれが生じたり、過重な負担のために小児科医の病院離れが進むなど様々な問題が出てきます。いざというときに子どもたちが安心して医療が受けられるよう小児救急医療体制が維持・確保されていくことが今後必要になってきます。

このような状況で、子どもの急な病気やけがに対して、症状をしっかり把握して、慌てず、落ち着いて対応することが大切です。

◆例えば・・・「38.0℃以上の発熱があったら？」



子どもが3か月未満

・休日夜間急患 ・診療所 ・救急病院

子どもが3か月～6歳

- 元気がなくぐったりしている。
- おしっこが出ない。
- いつもと違って活気がない。
- よく眠れず、うとうとしている。
- 水分をとるのをいやがる。

↑
「はい」が1つ以上
「はい」が1つもない
↓



様子をみながら診療時間になってからかかりつけの医療機関に受診してください。(連休、年末年始中は翌日に休日夜間急患診療所や休日当番医、救急病院などを受診してください。)
症状が大きく変わった場合はすぐに受診してください。



<家庭での対処方法>

- ①熱の出始めはあたたかめに、熱が出きったら涼しくしてあげましょう。
- ②暑そうなら涼しく、寒そうならあたたくしましょう。
- ③水分(乳幼児用イオン水など)こまめに与えましょう。
- ④汗をかいていたら、汗を拭いて着替えましょう。
- ⑤頭やわきの下を嫌がらない程度に冷やしましょう。
- ⑥元気そうなら、解熱剤を使うのは控えましょう。

現在の救急医療体制を維持するために、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
お医者さんに行くべきか迷ったらまず相談！
埼玉県の救急電話相談
#7119 24時間年中無休
(ダイヤル回線・IP電話・PHS・都県境の地域でご利用の場合は ☎048・824・4199)



問合せ 健康子ども課 健康づくり担当 ☎66・3111 内線132

更 生 相 談

身体障害者の更生援護に必要な専門的な知識・技術についての相談及び指導を実施しています。補装具の処方及び適合判定、施設入所の判定、その他医療相談を無料で受けることができます。

(手足・体の障害の相談)

- ・1月15日(月) 熊谷児童相談所
- ・1月 5日(金)、12日(金)、19日(金)、26日(金) 総合リハビリテーションセンター

(知的障害のご相談)

- ・1月10日(水)、2月5日(月)、14日(水) 熊谷児童相談所

予約制ですので、早めに福祉介護課(☎66・3111 内線144)へご連絡ください。